土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般県道　中大迫清田線　道路改良事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　令和3年度

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.6	**調査位置**	呉市倉橋町長谷			**北緯**	34° 09′ 9.40″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2022年 2月 21日 ～ 2022年 2月 25日	**東経**	132° 31′ 41.00″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 47.70m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
使用機種	**試錐機**	東邦地下工機 DO-D型					
総削孔長	11.00m	**エンジン**	ヤンマーNFD10	**ポンプ**	東邦地下工機 BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	47.30	0.40		シルト混じり砂	砂質土	暗褐			新生代	表土。腐植土を含む砂質土を主体とする。
1				花崗岩		褐～褐灰	rd3			黒雲母花崗岩。強風化によりマサ化している。岩組織は認められるが、風化変質が進行し、軟質化が著しい。コアは撹乱すると粗砂状を呈する。岩級区分ではDL～DM級に相当する。
2	45.70	2.00		花崗岩						
3	44.70	3.00		花崗岩	軟岩	褐～褐灰			白亜紀	黒雲母花崗岩。風化によりマサ化している。岩組織は明瞭に認められるが、風化変質が進行している。コア肌粗く、指圧にて崩れコアは粗砂～礫混じり砂状を呈する。深度方向に硬質化の傾向を示す。岩級区分ではDH級に相当する。
4										
5										
6										
7	40.30	7.40								
8	38.85	8.85		花崗岩		褐～褐灰				黒雲母花崗岩。全般的に変色し亀裂が発達する。コアは岩片状～短柱状を呈する。コア肌はやや粗く、ハンマー軽打で亀裂面より割れやすい。亀裂面に沿って風化変質が進行している。深度方向に硬質化の傾向を示す。岩級区分ではCL～CM級に相当する。
9				花崗岩	中硬岩～硬岩	褐～褐灰				黒雲母花崗岩。全般的に亀裂面の変色が認められるが硬質な花崗岩である。コアは10cm～20cmの短柱状コアを主体とする。Lmax=40cmの棒状コアを採取する。コア肌は比較的滑らかで、ハンマーによる軽打で金属音を発する。岩級区分ではCH～B級に相当する。
10										
11	36.70	11.00								
12										
13										
14										

孔内水位／測定月日：02/24 3.33　02/25 6.83

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
18	1.15	4	6	8	18/300		
	1.45						
33	2.15	10	11	12	33/300		
	2.45						
88	3.05	21	29/70		50/170	170	
	3.22						
107	4.05	34	16/40		50/140	140	
	4.19						
115	5.05	37	13/30		50/130	130	
	5.18						
167	6.00	50/90			50/90	90	
	6.09						
375	7.00	50/40			50/40	40	
	7.04						
	8.00	50/0			50/0		
	8.00						
	9.00	50/0			50/0		
	9.00						
	10.00	50/0			50/0		
	10.00						
	11.00	50/0			50/0		
	11.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.15	P-1	⊖
1.45		
2.15	P-2	⊖
2.45		
3.05	P-3	⊖
3.22		
4.05	P-4	⊖
4.19		
5.05	P-5	⊖
5.18		
6.00	P-6	⊖
6.09		
7.00	P-7	⊖
7.04		

室内試験：

原位置試験：

削孔月日：2/22　2/24　2/25